市議会だより はまだ

Vol.48
平成30年(2018年)2月1日発行

浜田のお店で買える地元食材

12月定例会 主な記事

可決事業…… 2
委員会報告……3～4
市政を問う(個人一般質問) …… 8

発行：浜田市議会　編集：議会広報広聴委員会　〒697-8501　島根県浜田市殿町1番地 TEL(0855)25-9800 FAX(0855)22-6765

水道料金を改定

～平成30年10月から３年間で段階的に新料金へ移行～

12 月定例会では、簡易水道事業の上水道事業への統合と水道料金の改定、浜田駅前広場整備事業の実施に伴い駅前駐車場、駐輪場を廃止する条例等を可決しました。また、若生まなびや館等 16 公共施設の指定管理者を決定し、石見小学校放課後児童クラブの増設や人事院勧告等に基づく給与改定等の一般会計補正予算を可決しました。

可決した主な事業

浜田市水道給水条例の制定

簡水事業を上水事業へ統合すること及び料金の改定に伴い、条例の全部を改定

【内　容】

○平均値上げ率は24.8%、料金改定は平成30年10月1日から3年で段階的に新料金へ移行（激変緩和）

弥畝辺地公共施設総合整備計画策定

生活路線の安全性の確保と地域の林業振興を図る

【内　容】

○平成29年度から平成30年度までの2年間

林道改良	特定財源	2,600万円
	一般財源	2,660万円
	（辺地対策事業債）	
	計	5,260万円

浜田駅前広場整備事業

浜田ステーションホテル移転新築に合わせ、駅前広場整備で浜田市玄関口の賑わいの創出を図る

【内　容】

○平成29年度から平成30年度までの事業費

測量調査・設計費

事業費	平成29年度	150万円
	平成30年度	3,083万円

補正予算

追加上程分減額補正を合わせ8,100万円の増額補正

【内　容】

○障がい児通所支援費の調整（利用児童の増加に伴うデイサービス給付の追加）

○利用希望児童の増加に伴う放課後児童クラブの増設

○7月災害発生に伴う事業遅延及び災害復旧費

市民本位の指定管理を求め白熱した議案審議

総務文教委員会

総務文教委員会に付託された議案15件、同意1件と請願1件について審査を行いました。

「浜田市有料駐車場条例の一部を改正する条例について」と**「浜田市駐輪場条例を廃止する条例について」**は浜田駅前広場整備事業に関わる事業のため一括して質疑を行いました。事業者との代替駐車場等の覚書の有無や土地売買契約書について質疑があり、執行部からは覚書は交わしている。契約書はこれからだが事業者の諸事情もあり工事に着手しているとの答弁がありました。

次に**「指定管理者の指定について（浜田市室内プール）」**では水泳連盟から浜田市教育文化振興事業団になった経緯、職員の処遇などの質疑があり、3年前に水泳連盟から施設を買取り、大改修をした。その後、3年間指定管理者として管理していたが、公募で水泳連盟は応募されなかったとの答弁がありました。

次に**「弥畝辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について」**と**「美又辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について」**では、辺地の要件や事業費の内訳について質疑があり、辺地の中心からの人口や主な建物からの距離で辺地点数が決まり、事業費は国が半分、残りは一般財源で辺地対策事業債であるとの答弁がありました。

同意案件の**「人権擁護委員候補者の推薦について」**は、人権擁護委員の活動内容、報酬の有無などの質疑があり、報酬は出ていないことや教育者や行政、福祉関係や僧侶など各界での経験者をバランスよく選考しているとの答弁がありました。

議案15件、同意1件、請願1件は、全会一致で可決すべきものと決しました。

浜田市室内プール

水道料金改定で財源と管路更新に質疑集中

福祉環境委員会

福祉環境委員会に付託された議案8件について審査を行いました。

「浜田市やすらぎの家条例の一部を改正する条例について」と、**「財産の無償譲渡について（やさかやすらぎの家）」**は、財政効果と、事業内容の担保を契約書に明記すべきとの質疑があり、年間80万円の管理料が不要となる。契約書については総務部と相談するとの答弁がありました。

「指定管理者の指定について（ラ・ペアーレ浜田）」は、選定の経緯や利用状況について質疑があり、新たな健康増進機器を使ったトレーニング法の提案が評価された。年間延べ6万人の利用があるとの答弁がありました。

「指定管理者の指定について（浜田市火葬場及び浜田市弥栄火葬場）（浜田市旭火葬場）（浜田市三隅火葬場）」は、各火葬場の火葬件数について質疑・答弁がありました。

「財産の無償譲渡について（長浜町1900番の宅地）」は、売却額の算出について質疑があり、算定ルールに基づき、不動産鑑定評価額の1/2となるとの答弁がありました。

以上の7議案は採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

「浜田市水道給水条例の制定について」は、管路更新計画、激変緩和の財源について質疑があり、管路更新はしっかりと年次計画を立てる。激変緩和に要する費用と一般会計繰入れとの差額の1億1千万円は、改定額を算出する際の財源に溶け込んでいるとの答弁がありました。

この議案は採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

浜田市火葬場

指定管理から再配置計画の進捗を把握

産業建設委員会

産業建設委員会に付託された議案9件、同意2件について審査を行いました。

「浜田市農村広場施設条例を廃止する条例について」は、該当となる浜田市農村広場を地元団体への無償貸与するにあたり、他への貸与で収入を得る考え方について質疑があった。実費程度の利用料金を設定し、維持管理を行うとの答弁がありました。

「指定管理者の指定について（浜田市国民宿舎千畳苑）」は、指定管理者交代による現従業員の処遇と、施設譲渡の考え方などについて質疑があり、新指定管理者の提案の際に従業員の継続雇用が前提になっている、また今後5年間で民間譲渡に向けて取り組んでいくとの答弁がありました。

「浜田市農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意を求めることについて」は、過半数に満たなかった理由や、認定農業者に準ずる要件などについて質疑があり、本業と委員会業務との両立の難しさから敬遠されたこと、準ずる方とは集落営農の役員であるとの答弁がありました。

「浜田市農業委員会委員の任命について」は、農業を推進するために、過半数を認定農業者に担っていただくことが望ましいとの質疑があり、今後認定農業者を増やし、改選を迎える3年後は、過半数を超えるように努力するとの答弁がありました。

以上9議案は採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

また2同意案件は、採決の結果、賛成多数で同意すべきものと決しました。

浜田市国民宿舎千畳苑

放課後児童クラブ・空港緊急対策に質疑集中

予算決算委員会

予算決算委員会に付託された予算議案7件について審査を行いました。

「平成29年度浜田市一般会計補正予算（第5号）」は、24名の議員から13事業について質疑がありました。

総務費の**「浜田暮らし応援事業」**の空き家バンク登録物件改修事業補助金について、登録物件数の増加理由や今後の対応についてなど質疑があり、平成27年度に特別措置法が施行されて市民の空き家に対する意識が向上したことや、今後も若干の見直しでさらに多くの市民が利用する事業にしたいとの答弁がありました。

民生費の**「障がい児通所給付事業」**においては、度重なる増額補正の理由や、今後の見通しについてなど質疑があり、潜在的な要望があって、施設整備が整ったことや制度が周知されたもので、今後も利用回数の増加を見込んだ予算立てをするとの答弁がありました。

また**「放課後児童クラブ施設整備事業」**について、補正理由や施設規模や構造、耐用年数、建設費などについての質疑が集中し、工事単価なども含めて詳細な答弁がありました。

農林水産業費の**「農地耕作条件改善事業」**について、工事場所や事業概要との関連性及び農地集積の現状を問う質疑があり、耕作放棄対策の事業であって、浜田市は農地集積率が低く、該当地域の担い手確保へ重要な事業であるとの答弁がありました。

商工費の**「萩・石見空港緊急対策事業」**については、申請見込み者数や積算根拠などについての質疑があり、アウト対策を重視した見込みをした。対策協議会への負担金もあるため、理解を求める答弁がありました。

教育費の**「嘱託職員報酬等（学校施設）」**について、正規用務員と嘱託用務員の給与格差についての質疑があり、嘱託職員に関する協議の中で改善し、学校用務員についてはすべての嘱託化を目指すとの答弁がありました。

その他の予算議案6件については質疑がなく、採決の結果、予算議案7件すべてを全会一致で可決すべきものと決しました。

石見小学校杉の子学級

請願・陳情について審査しました

区分	請願・陳情の内容	提出者	委員会の審査結果
請願	浜田市東公園庭球場存続に関する請願について	テニス同好会 代表　岡本　栄 奥田　靖	総務文教委員会 （採択）
陳情	病児保育の継続、実態、要綱について理解できる説明を求める陳情について	森谷　公昭	福祉環境委員会 （採択）
陳情	浜田市社会福祉協議会の適切な運営を求める陳情について	森谷　公昭	福祉環境委員会 （採択）
陳情	民生委員の空白地域解消並びに民生委員の負担軽減を求める陳情について	森谷　公昭	福祉環境委員会 （採択）
陳情	全小中学校のトイレの洋式化を求める陳情について	森谷　公昭	総務文教委員会 （採択）
陳情	浜田市議会議員及び親族の税金滞納を市民と公平に取り扱いを求める陳情について	森谷　公昭	総務文教委員会 （不採択）
陳情	浜田駅前広場整備事業計画に関する陳情について	森谷　公昭	産業建設委員会 （不採択）
陳情	市道西浜田67号線の改良に関する陳情について	森谷　公昭	産業建設委員会 （意見を付して採択）

（敬称略）

議案に対して討論を行いました

議案第64号 浜田市工場誘致条例の一部を改正する条例について

反対討論

西村　健

この10年、企業立地促進法と企業誘致競争により、立地企業の撤退や地方の疲弊が進んだ。同法に代わる地域未来投資促進法は、その反省もなく2千社の企業に支援を集中し、地域の産業集積を法目的・理念から削除するものであり反対する。

議案第66号 浜田市水道給水条例の制定について

反対討論

澁谷　幹雄

浜田市は、議会からの指摘にかかわらず老朽管の更新計画を策定せず、水道事業の固定費の圧縮の努力を怠り、水道管の破裂と漏水により今後も水道料の値上げが繰り返されることは必定のため、この水道料値上げの条例に断固反対する。

西村　健

簡易水道事業の水道事業への統合も、平均24・8％という高い料金改定率もやむを得ないと考える。しかし、一般会計からの繰入金5・3億円のうち、1・1億円を3年間の激変緩和の財源に充てないとする考え方には賛成できない。

平成29年12月定例会での議案等の賛否の公開（本会議）

議案番号	議案名	賛成	反対
議案第59号	浜田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第60号	浜田市有料駐車場条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第61号	浜田市駐輪場条例を廃止する条例について	23	0
議案第62号	浜田市やすらぎの家条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第63号	浜田市農村広場施設条例を廃止する条例について	23	0
議案第64号	浜田市工場誘致条例の一部を改正する条例について　**反対：西村**	22	1
議案第65号	浜田市営地域定住住宅条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第66号	浜田市水道給水条例の制定について　**反対：川上、小川、笹田、道下、澁谷、西村、牛尾**	16	7
議案第67号	弥栄村定住化推進に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第68号	指定管理者の指定について（若生まなびや館）	23	0
議案第69号	指定管理者の指定について（浜田市室内プール）	23	0
議案第70号	指定管理者の指定について（浜田市金城総合運動公園）	23	0
議案第71号	指定管理者の指定について（浜田市今福スポーツ広場施設）	23	0
議案第72号	指定管理者の指定について（浜田市三隅Ｂ＆Ｇ海洋センター）	23	0
議案第73号	指定管理者の指定について（浜田市三隅中央公園及び田の浦公園運動施設）	23	0
議案第74号	指定管理者の指定について（浜田市岡見スポーツセンター）	23	0
議案第75号	指定管理者の指定について（ラ・ペアーレ浜田）	23	0
議案第76号	指定管理者の指定について（浜田市火葬場及び浜田市弥栄火葬場）	23	0
議案第77号	指定管理者の指定について（浜田市旭火葬場）	23	0
議案第78号	指定管理者の指定について（浜田市三隅火葬場）	23	0
議案第79号	指定管理者の指定について（浜田市都川交流促進施設）	23	0
議案第80号	指定管理者の指定について（浜田市天狗石農村公園）	23	0
議案第81号	指定管理者の指定について（浜田市農産物集出荷貯蔵施設）	23	0
議案第82号	指定管理者の指定について（浜田市地域資源循環活用施設）	23	0
議案第83号	指定管理者の指定について（浜田市国民宿舎千畳苑）	23	0
議案第84号	財産の無償譲渡について（浜田市やさかやすらぎの家）	23	0
議案第85号	財産の減額譲渡について（長浜町1900番の宅地）	23	0
議案第86号	弥畝辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	23	0
議案第87号	美又辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	23	0
議案第88号	平成29年度浜田市一般会計補正予算（第5号）	23	0
議案第89号	浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例及び浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第90号	浜田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第91号	浜田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第92号	平成29年度浜田市一般会計補正予算（第6号）	23	0
議案第93号	平成29年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第94号	平成29年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第95号	平成29年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第96号	平成29年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第97号	平成29年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	23	0
同意第11号	浜田市農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意を求めることについて　**反対：笹田**	22	1
同意第12号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
同意第13号	浜田市農業委員会委員の任命について　**反対：笹田**	22	1
発議第9号	浜田市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
発議第10号	議会改革調査検討特別委員会の設置について	23	0
発議第11号	自治区制度等行財政改革推進特別委員会の設置について	23	0
発議第12号	中山間地域振興特別委員会の設置について	23	0
請願第 1号	浜田市東公園庭球場存続に関する請願について	23	0

反対理由の詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→会議日程・結果→賛否の公開

特別委員会が設置されました

12 月定例会では３つの特別委員会が設置されました。

これまでの「議会改革調査検討特別委員会」と「自治区制度等行財政改革推進特別委員会」は引き続き設置され、改革に取り組んでいきます。

また、新たに「中山間地域振興特別委員会」が設置され、集落機能の維持対策や交通・通信・情報の確保対策など、山積する課題に取組み、提言、提案していきます。

中山間地域振興特別委員会

委員長	飛野　弘二	副委員長	布施　賢司
委　員	三浦　大紀	委　員	西川　真午
委　員	川上　幾雄	委　員	柳楽真智子
委　員	串﨑　利行	委　員	上野　　茂
委　員	岡本　正友	委　員	芦谷　英夫
委　員	永見　利久		

新設された中山間地域振興特別委員会

議会改革調査検討特別委員会

委員長	西田　清久	副委員長	牛尾　　昭
委　員	西川　真午	委　員	村武まゆみ
委　員	柳楽真智子	委　員	小川　稔宏
委　員	野藤　　薫	委　員	笹田　　卓
委　員	布施　賢司	委　員	道下　文男
委　員	田畑　敬二	委　員	澁谷　幹雄

自治区制度等行財政改革推進特別委員会

委員長	串﨑　利行	副委員長	芦谷　英夫
委　員	三浦　大紀	委　員	沖田　真治
委　員	川上　幾雄	委　員	上野　　茂
委　員	飛野　弘二	委　員	岡本　正友
委　員	永見　利久	委　員	佐々木豊治
委　員	西村　　健		

人事案件について審議し同意しました

○人権擁護委員　：羽野　瑞枝、渡部　恵子、檜谷　朝子

○農業委員会委員　：三浦　博文、岡本　嗣喜、川本　聖光、青葉　　真
宮﨑　龍生、徳田マスヱ、佐々岡常喜、岡本　健治
三明多佳志、柿元　信次、渡辺　弘之、玉田　　一
渡邉　弘登、原田　義一、廣瀬　康友、林　　秀司
松山　純久、佐々木京子、大谷　数義

○浜田市選挙管理委員　：天野　　孝、花田　清征、山代　由香、石田　孝之

○浜田市選挙管理委員補充員：瓦田　富子、岡本　正博、福原　　誠、牧　　克幸

（敬称略、順不同）

市政を問う

20名が論戦（個人一般質問）

【個人一般質問とは】
各議員が住民の代表として、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。
限られた字数で編集しています。くわしい内容については議会 HP でもご覧いただけます。

浜田を選んでもらえる価値づくりを

三浦大紀

質問 人材発掘・誘致は企業の最大の課題。認識と戦略はどうか。

市長 定住対策では、産業振興や企業誘致による雇用の確保が重要で、人材の獲得が最大の課題。

産業経済部参事 広島が重点地域。政策企画課や県広島事務所との連携を強化し、広島での人材発掘体制を構築する。

質問 事業承継推進の具体策はあるか。金融機関等との連携でマッチングまでの支援体制を構築すべき。

産業経済部参事 事業者へ意向調査後、ヒアリングを実施、調査研究中。情報開示も両者で検討し、受皿づくりを推進する。

質問 子育て支援センターの建替えについて、利用できていない市民からの意見・要望への配慮も不可欠。市民参加型の丁寧な計画づくりをすべき。

健康福祉部長 検討委員会だけでなく、幅広く意見を伺う機会を設けたい。パブリックコメントや市民向け説明会も実施予定。

その他の質問
○移住相談窓口、無料職業紹介業の現状
○シングルペアレント事業の位置付け

人口規模（大→小）	浜田からの距離（近→遠）	移住者数と居住年数5年以上たる者	うち、UターンIの割合
東京	**広島**	**広島** 61人	大阪 76%（22人）
大阪	山口	大阪 29人	**広島** 66%（40人）
広島	岡山	山口 22人	山口 64%（14人）
岡山	大阪	岡山 19人	東京 61%（11人）
山口	東京	東京 18人	岡山 58%（11人）

H28 年度 浜田市への都道府県別転入者の状況

北前船寄港地「外ノ浦」観光・文化に活用を

西川真午

質問 外ノ浦の日本遺産「北前船寄港地」追加認定への取組状況を問う。

産業経済部長 平成29年4月に北海道から敦賀までの11の寄港地が認定を受け、現在浜田市を含む27自治体で文化庁への追加申請の準備中である。

質問 認定された場合の観光資源としての活用は。

産業経済部長 城山や会津屋八右衛門の碑を含めた観光コースの設定や、観光サインの設置など一体整備を検討する。

質問 地域の文化向上や文化教育への活用は。

教育長 街並みや史跡、史料を一体的に保存し歴史文化の振興に役立てる。今後は地元への説明会なども実施し機運の醸成にも取り組む。

質問 テレワーク（情報通信技術を活用した、時間や場所にとらわれない働き方）を活用した定住対策の取組状況を問う。

産業経済部参事 広島市場開拓室を中心にIT企業の誘致に取り組み2社を誘致した。

質問 今後の方針は。

産業経済部参事 IT企業以外の業種にもターゲットを広げ、県の事業とも連携し進める。

その他の質問
○市職員のメンタルヘルスケアについて
○下水道整備計画

江戸時代中期から明治時代の廻船問屋の客船帳
（外ノ浦町楫ヶ瀬家所蔵）

水道値上げ・核ごみ処分 受け入れは絶対反対

牛尾 昭

質問 上水道の値上げは私の選挙公約に反しており認められない。簡易水道を上水へ統合し、結果として値上げせざるを得ないという国の要求は、理不尽で看過できない。

上下水道部長 交渉の成果、5年間は交付金が担保される。また5億円程度一般財源を投入し、激変緩和措置を導入する。

美川浄水場

質問 経済産業省核ごみ最終処分場の科学的特性マップは、弥栄断層が無視されているが、問う。

市民生活部長 実際に選定のおりには、考慮されると認識している。

質問 先頃、原子力国民会議主催の講演会があり内容は少量被爆は、かえって長寿につながるというがくぜんとするものであったが、見解を問う。

市民生活部長 参加しておらず、詳細はわからないが情報収集したい。

その他の質問

○萩・石見空港問題

乗客増員が期待される萩・石見空港

農村部のSS、これからどうなる

串﨑 利行

質問 農村部を中心にSS（※1）が減っている。少子高齢化を背景に、ガソリン需要が減り、引き継ぐ担い手不足等も要因であるが、現在の状況を問う。

産業経済部参事 直近3年間で、浜田自治区3店舗、旭自治区1店舗、弥栄自治区1店舗減少した。

質問 燃料供給拠点だけでなく、配送や宅配業務、安否確認等を含め、インフラ機能の一翼を担うこともできる。社会的な役割を担う、SSを存続させるべきだが考えを問う。

市長 全国各地で顕在化しており、提案の多角化経営等は、いくつかの地域で行われている。SSは、重要な社会インフラと認識しており、先進的な事例も参考にして、地域と一緒に検討を進める。

質問 産直市生産拡大事業は、産直市を活性化するために、農協が実施する営農コーディネーターに、毎年270万円補助をしている。BUY浜田運動とも関係があり、農業振興のため、今後拡大継続するべき事業であるが考えを問う。

産業経済部長 産直市の生産拡大は必要であり、引き続き営農コーディネーターに支援し、サポート体制の充実を図る。

廃業したSS（中山間地域）

認知症高齢者と介護者の負担軽減の制度化を

小川 稔宏

質問 徘徊の心配がある認知症高齢者や家族等の精神的負担軽減のため、SOSネット事前登録と併せ、鉄道事故等に備えた個人賠償責任保険制度導入への考え方を問う。

健康福祉部長 現在も登録の有無にかかわらず早期発見に役立てており、課題や有効性等を検討する。保険は個人の金銭的補償をどこまで行政が補うかの判断が難しく、研究が必要と考える。

質問 駅前高速バス乗り場への屋根設置等、風雨対策について問う。

都市建設部長 関係機関の意見を伺い、利便性を考慮した整備計画を策定したい。

質問 道徳教科化について教育勅語の復活や戦前の修身のような偏った思想教育の側面はないか。

教育部長 児童生徒が生きる上での問題や課題を主体的に解決する資質・能力を養うもので思想教育ではない。

質問 心の評価はすべきでない。思想良心の自由の侵害、価値観の押しつけにならないか、また内申書へは影響するのか。

教育部長 励ます評価として記述式で行い、子どもの成長の過程を多面的にとらえるもので価値観の押しつけではない。内申書へは記載しない。

列車が通過する市内の踏切

※1　SS：サービスステーション（ガソリンスタンド）

繰入金活用で水道料値上げの負担軽減を

西村　健

質問　来年4月の簡易水道事業の上水道事業への統合に伴い10月から平均25％の料金値上げが予定されている。値上げ抑制の点で市の努力は十分かという視点で質問する。一般会計から水道・簡易水道事業会計への繰入金は、事業統合によりどう変化するのか。

上下水道部長　簡易水道事業にも地方公営企業法が適用され、独立採算により事業運営をしていくこととなる。したがって、一般会計からの繰入金のうち、赤字補填としての基準外繰入はなくなる。

質問　料金値上げに伴い実施予定の激変緩和措置の考え方およびそれに要する一般会計からの繰入額について問う。

上下水道部長　料金改定と3年間の段階的値上げによる給水収益との差額を、減収補てんとして一般会計から総額5・3億円を繰り入れる。

質問　改定率が相当高かった2年前と比較し、繰入が同額であるのは理解できない。精査する必要があるのではないか。

上下水道部長　5・3億円は値上率39％時の繰出金である。その後、値上率を低くしたにもかかわらず5・3億円を固定したのは、市の努力と受け止めていただきたい。

美川浄水場

浜田市学校給食と未払い世帯の対応について

沖田真治

質問　保護者の負担する給食費で全て賄われているのか、公費がいくら使われているのか。

教育部長　保護者負担の給食費は、食材費に充てている。人件費、維持管理費等は、年間約2億2千万円の公費で負担している。

質問　食材の産地別使用率について問う。

教育部長　島根県が実施する調査期間の1週間の食材仕入れ状況では、28年度、地元産71％、国内県外産24％、外国産5％となっており、県内8市の中で1番の地元産利用率となっている。

質問　学校給食費未納問題は起きているのか。

教育部長　26年度7件14万10円、27年度10件18万8094円、28年度18件80万7160円の給食費未納がある。

質問　現在の対応状況と今後の方針を問う。

教育長　学校と教育委員会の連名で納付依頼をしているが公会計でないため、税金滞納者と同様の対応は難しい。文部科学省が「給食費の徴収を自治体が行うのが望ましい」として、ガイドラインを示した。今後は国のガイドラインを参考に対応していく。

その他の質問

○国府海水浴場について

おいしい給食

今こそ、中山間地域生き残りの仕組みづくり

飛野弘二

質問　中山間地域のマップ上のすみ分けと面積、人口など比較できる数値を問う。

地域政策部長　マップなどによるすみ分けはしていない。従って比較できる数値は持っていない。

質問　マップ上のすみ分けが基本だ。また、比較数値が出ると対策が図れると思うが所見を問う。

地域政策部長　中山間地域対策は大事。浜田市独自のすみ分けをすることは可能である。

質問　農作業、草刈、冠婚葬祭、祭りなど集落組織の維持が難しくなる傾向がある。限界集落数と推移状況を問う。

地域政策部長　113集落あり平成26年と比較すれば30集落増加している。

質問　中山間地域生き残りの仕組みづくりが大切と思うが、浜田市における将来見通しなどを踏まえた中山間地域対策の方向性を問う。

市長　交通手段、猪、草刈など課題は山積。市民の声を聞き知恵を頂きながら対策を検討する。

質問　「中山間地域対策プロジェクトチーム」の設置が急務と考えるが、所見を問う。

地域政策部長　既設置の「中山間地域活性化プロジェクトチーム」を再編し対策を検討して行く。

農道法面の除草省力化（芝生化）事業

少子化対策は魅力ある子育て支援で

村武 まゆみ

質問 浜田市が目指す子ども子育て支援を問う。

市長 子どもを安心して産み育てる環境づくりを重点目標とし、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援できるまちを目指す。

質問 子どもの発達段階で重要な役割の放課後を過ごす児童クラブ支援員の研修について問う。

健康福祉部長 今年度10回の研修を予定しており、学童保育の実践者である岡山大学の中山芳一先生の研修も予定している。

質問 はまだっ子共育プロジェクトの公民館等と放課後児童クラブの連携の取組状況を問う。

教育部長 今年度夏休みに全ての放課後児童クラブにおいて連携事業が行われた。

質問 放課後子ども教室の成果を問う。

教育長 公民館で11教室、地域で3教室が開設しており、地域住民と共に子ども達に安全で安心、安定した放課後の過ごし方を提供している。

質問 障がいについて理解啓発のあいサポート研修の実施状況を問う。

健康福祉部長 今年度は8回開催し、396人が受講した。今後も誰もが暮らしやすい共生社会を推進する。

はまだっ子共育プロジェクト

住環境の悪化を招く空き家の現状と対策は

布施 賢司

質問 空き家の問題は、今や社会・地域の問題で住民の悩みの種になってきているが、現状を問う。

都市建設部長 平成26年全市で実態調査、2、409件で6割が浜田自治区に集中。目視で外観調査できた2、180件中、3割が「倒壊の危険性がある」と判定されている。

質問 所有者に対する指導と対策を問う。

都市建設部長 「倒壊の危険性大」に対して、特定空き家等の判定や相続関係調査を行い、電話や訪問、文書等により交渉を行っている。また、最新の情報を把握するため、相続者が帰郷する時期にチラシを投函し、意向調査を自治会がしている例があり、住民からの協力を得てデータベースの整理も進め対処していく。

質問 空き家対策の有効な取組について問う。

地域政策部長 空き家バンクの登録を進め、専用ホームページや窓口で紹介し、登録物件改修や家財処分等に補助制度を設け成約に結び付けている。空き家を活用した二地域居住、カフェや宿泊施設等の住まい方や仕事の選択は、関係機関が一体となり、支援や誘致活動が重要なので検討を進める。

その他の質問

○期日前投票について

空き家バンク（市のHP）

市民の健康づくりにまず受診期間の延長を

芦谷 英夫

質問 県立大学の地域政策学部設置に向けた取り組みを問う。

地域政策部長 県立大学では学部増設に向け、地域貢献で全国一の大学をめざすとされており、考えを共有し今後の大学の活動に協力していきたい。

質問 人件費増を避けるため、雇止めやパート化など弱い立場にある非正規職員にしわ寄せをすべきではないがどうか。

総務部長 人件費増を避けるため、非正規職員を雇止めしたり、パート化する考えは持っていない。

質問 江戸時代と現在の地図を重ね合わせ街歩きできる「地図ぶらり」の取り組みを支援する考えはないか。

教育長 おもしろい試みで、歴史理解へのアプローチになる。浜田高校歴史部でデータ作成中であり、イベントやボランティアガイド養成講座で活用できる。

質問 特定健診の受診者は約5割で「年1度の受診」を呼びかけても、受診期間が6月から11月の半年で受診が進まない原因であり、年間通して受診できないか。

健康福祉部長 一人でも多くの市民が受診できるよう、受診期間について関係機関と協議したい。

調査が待たれる浜田城「しゃちほこ」「鬼瓦」

人口減少対策は、子育て支援が一番

澁谷幹雄

質問 浜田市の教育振興には、学校現場への予算投入が絶対的に必要だ。来年度はどのくらい増額する考えなのか。

教育長 学校教育予算は、1千9百万円増の3億4千万円である。

質問 駅鈴モニュメントの設置は、いつか。

市長 平成31年の浜田開府400年に合わせる。

質問 条件不利地の自治体での人口減少対策で一番効果があるのは、子育て支援だ。ふるさと寄付の財源を使って、何故保育料の無料化に取組まないのか。

健康福祉部長 恒久財源で対応すべきで、国の対応を期待したい。

質問 国が無料化にしても、浜田市の都市間競争での優位性が増しはしない。国が始める前に、浜田市が先に始めることが重要なのだ。水道料が値上がることで、他の都市より安いものが無くなってしまい、浜田に住んでいることの魅力が益々薄れ、人口減少に拍車がかかるのではないか。

地域政策部長 人口減少対策は、総合的な対策に取り組むことが重要。

質問 300万円や車を提供する不公平な「シングルペアレント事業」は、中止すべきでは。

地域政策部長 継続する。

隠岐の島町では、駅鈴のモニュメントの陶器に入った地酒が販売されている。

高校卒業まで医療費助成を拡充すべきでは

笹田卓

質問 子育て支援の一環として、高校卒まで医療費助成を拡充すべきでは。

市民生活部長 中学卒業まで医療費無料化か、高校卒業まで医療費助成の拡充かを検討している。

浜田市独自の子育て支援策拡充を

質問 仮にしまねお魚センターを購入した場合、JF、JAの協力のもと、浜田産の魚介、野菜、肉、花などが一度に購入できる浜田市民が集う施設が必要では。

市長 多くの浜田市民が集う施設が必要だと考える。水産都市浜田の顔となる施設整備を前向きに進める。

質問 しまねお魚センターの土地、建物を浜田市に売却したいと要望があったが、購入するのか。

財務部長 過疎債を充てて、購入できるように前向きに検討する。

購入を検討中のしまねお魚センター

老朽管更新を、悪化した水道財政で賄えるか

川上幾雄

質問 このたび、上水道と簡易水道の統合に伴う料金の改定が示された。合併後の格差是正への取組状況を問う。

上下水道部長 国からの統合通知により水道審議会を開催し、その答申により統合と料金の段階的統一に至った。

質問 有収率低下の原因と対策を問う。

上下水道部長 送水圧の変化や管路の老朽が大きな原因で、対策には管路の更新が必要。

質問 過去において、上水道の値上げ抑制のため管路更新を抑制していたと聞く。

上下水道部長 値上げ抑制策として、積極的な経費抑制や経営基盤の強化・財務体質改善で対応してきた結果として、長い間据え置き維持できた。

質問 耐用年数を超えた上水管路の総延長と更新に要する費用はいくらか。

上下水道部長 昨年度末で約94㎞・約54億円。

質問 多額の費用を必要とする老朽管路の更新は、水道料金で対応しておくべきで、されなかったことが将来の負担となって現れる。水道料金と財政の均衡について問う。

上下水道部長 水道財政は悪化していると言わざるを得ない。

配水管切替

子育て支援センターに浜田版〝木育広場〟を

西田清久

質問 新「子育て支援センター」建設に当たり、日南市の子育て支援センターや東京おもちゃ美術館などを参考に浜田版「木育広場」を設置する考えはないか問う。

健康福祉部長 浜田市の地産地消条例にも木育がうたわれており、できるだけ取り入れたい。

質問 事業承継に関するアンケート調査結果を踏まえた取組で、都市部で行われる定住フェア等で企業情報も合わせたマッチングの取組ができないか問う。

産業経済部参事 企業の了解を得たうえで紹介していかなければならないが、検討したい。

質問 産業支援の観点から温泉入湯税を一定額以上から課すように条例改正ができないか問う。

産業経済部長 温泉施設を存続してもらうために何とかしたいが、別な方法で事業者支援ができないかも検討したい。

質問 外国船籍のクルーズ船の入港に対し、地元への経済効果が懸念されるが、対策を問う。

産業経済部参事 ツアー客、クルー（乗組員）各々に合わせた具体的な取組を検討している。

その他の質問

○城山公園のビジョン

○歴史資料館の考え方

大人気！宮崎県日南市
子育て支援センター「コトコト」

中山間地域対策の早急な取組みを

永見利久

質問 中山間地域の人口は減少し、産業や定住環境の縮小を招く悪循環になる、早急に中山間地域対策に取り組むべきと思うがどうか。

市長 中山間地域対策は2期目の重要施策のひとつと考えており、市民の皆様の声を聞きながら、対策に取り組む。

質問 行政機構の中に、中山間地域の課題解決に取り組む部署を、各自治区別に設置すべきと思うがどうか。

地域政策部長 「中山間地域活性化プロジェクトチーム」の再編は、総合的な対策を行うため、本庁と支所が組織連携する構成を想定しており、各自治区に設置は考えていない。まちづくり推進委員会と連携し、仕組みづくりは検討したい。

質問 中山間地域の集落では、「耕作放棄地」が増加し続けている、早急な対策に取り組むべきと思うがどうか。

産業経済部長 農業を活性化するため、認定農業者や各経営体相互の連携を進め、担い手への農地の集積を進める。

質問 農業振興基金事業の取組の成果を問う。

産業経済部長 農業経営体育成支援事業や畦畔経営体育成支援事業などに成果が出ている。

増加する耕作放棄地

交流人口増に、特徴的なスポーツの振興策を

野藤薫

質問 地域インフラでもある店舗が廃業している。事業承継が喫緊の課題で行政ができる支援を問う。

市長 2月の事業承継アンケートでもショッキングな結果が出た。中山間地でも生活関連業種の廃業があると市民生活への影響が多大で、先進事例を参考に、当市の実情にあった方策を検討する。

質問 日本遺産「北前船寄港地」追加登録に向けた取組みや整備等を問う。

産業経済部長 11月24日鳥取市で開催された協議会の「追加申請検討部会」で浜田市を含む27自治体で追加申請を目指す報告があり、大きな船主集落ではないが、日和山方角石や金毘羅神社、会津屋八右衛門の碑、海岸絵図、客船帳などがある。散策路や様々な情報発信にも取組む予定である。

質問 特徴あるスポーツを振興できないか問う。

教育長 安全で、魅力的なスポーツ施設を整備することは行政の役割と認識している。かつての「体操の町浜田」復活への取組みも行っている。

質問 2020東京オリンピックに向けた浜田市の取組みを問う。

教育長 聖火リレーやイベント情報を的確につかみ、スポーツの祭典の機運を盛り上げていきたい。

外ノ浦に入港した北前船

いじめを起こさない 心の教育の取組みは

柳楽 真智子

質問 いじめ防止対策において、早期発見・早期対応はもちろん大切だが、最も重要なことはいじめを起こさない心の教育だと考える。子ども自身がいじめについて考え、防止のための行動を考え実践することこそ大事だ。心の教育の取組みを問う。

教育部長 互いに関わりながら他人に認められる自己有用感獲得を目指す交流体験。自己肯定感を高める学級活動や集会活動、いじめ防止や人権尊重の道徳教育など、子どもの成長に大切な心の教育の取組みを推進する。

質問 SNSを活用した悩み相談の取組みを問う。

教育部長 現在SNSを活用した悩み相談の実施は考えていない。他市の実施状況を把握しながら、実施の必要性を見極める。

質問 ミニデイが廃止となりサロン活動が進められているが、送迎がなく会場に行けない方もいる。乗合タクシーの活用は考えられないか問う。

地域政策部長 現在、旭自治区の来尾地区でサロンの送迎に乗合タクシーが活用されている。今後、他の地域でもサロン送迎の要望があれば、現在の路線や時間を変更することは難しいが、活用していただけるように情報提供していく。

サロン送迎に乗合タクシー活用を

歴史資料館整備の提案は 財政抑制が条件では

佐々木 豊治

質問 所信表明に示されている「浜田歴史資料館整備」の提案について、「これならばいい」という案とは、財政負担の抑制が最低条件の案と思うが所見を問う。

教育部長 できるだけ整備費用や運営費を下げる観点を持ちながら案を作成していく。

質問 高齢化などにより、草刈に苦労しておられる市民のみなさんに、退職された職員さんによる「草刈課」を設置し、地域貢献を行えないか問う。

総務部長 設置はむずかしいが退職した職員は地域貢献をするということなので、地域の一員としての作業などに積極的な参加をよびかける。

質問 市が所有して活用されていない備品類や消耗品などの遊休財産を、町内会などに提供し、有効活用をすべきではないか問う。

総務部長 公募を原則に自治会に提供するなど、有効な処分方法について検討したい。

質問 商業施設での期日前投票の取組について、市内のショッピングセンターからも要請があるが取組めないか問う。

選管事務局長 急な解散の際の対応など、施設と協議し検討していきたい。

○その他5項目を質問

視察に行った佐賀城資料館

若者の定住には 働き場が必要だ

岡本 正友

質問 若者の定住には安心して働ける職場が必要である。事業承継のアンケートでは後継者不足による事業所の閉鎖から雇用への影響が懸念される。また建設工事等の発注減少は問題でもあるが、行政の認識と対策を問う。

都市建設部長 後継者及び技術技能職員の不足は大きな課題である。建設業を担う社会基盤整備や災害時の初期対応・除雪作業など地域経済の活性化や市民生活に重要だ。今後は建設業の発展、継続が可能となるように耐震改修推進や社会インフラ整備の維持更新等に総合的かつ計画的に適切に対応していく。

質問 市内全域では、年間84にものぼる多くの祭りやイベントが開催されている。参加協力を希望された商店会や宿泊施設などから主催者の対応について不満の声をきく。周知不足や組織間の連携体制のなさを感じるが所見を問う。

産業経済部長 マリン大橋リレーマラソンや地域伝統芸能全国大会で指摘され反省している。情報発信や関係する皆さんの協力でまちの賑わい創出につながると考える。関係者や地域と協働の仕組みづくりを検討する。

マリン大橋リレーマラソン

議会からのお知らせ

3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22 **開会** 本会議 （議案の提案説明）	23 本会議 （会派代表質問）	24
25	26 本会議 （個人一般質問）	27	28	3/1	2 本会議 （議案質疑）	3
4	5 総務文教委員会	6 福祉環境委員会	7 産業建設委員会	8 予算決算委員会 （総務文教関係）	9 予算決算委員会 （福祉環境関係）	10
11	12 予算決算委員会 （産業建設関係）	13 予算決算委員会 （予備日）	14 休会	15 本会議 （表決） **閉会**	16	17

知ってナッ得!!

女性の活躍社会促進のために

市議会では、改選後の臨時会において、会議の欠席届に関する条例・会議規則の改正を行いました。この改正は、近年の男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、出産を理由とする欠席手続きを明確化するものです。

昨年 12 月の新聞報道によると、県や企業などでつくる「しまね働く女性きらめき応援会議」が公表した女性の活躍度ランキングでは、島根県は全国 11 位となっています。これは、職場・家庭・地域・社会における働く女性を取り巻く環境を国のデータなどを基に数値で表したものです。

県はこの数値を活用して企業などに経営者や社員の意識改革、女性が働きやすい制度作りを呼びかけるとしています。

市議会として、今後も女性の活躍を促進するための環境整備に努めてまいります。

表紙について

議会をもっと身近に感じていただくため、
議会として伝えたいメッセージを表紙に込めました。

12月の定例会を振り返ると、多くの議員が
「農業」について一般質問しています。
生産者の所得向上、休耕地の利活用、
農産品の付加価値化など課題は山積です。

食べることは生きること。

BUY浜田運動も展開されていますが、
地域の産品や生産者の方々にも目を向けていただき、
みなさんの食卓から、農業とのつながりを考えて
いただけたら幸いです。

ということで、今回は、このまちでつくられている
農産物を盛り付けデザインしてみました。

浜田はすばらしい食材で溢れています。

この号から、新しい編集委員で市議会だよりをお届けします。
どうぞよろしくお願いします。

編集委員は左から
笹田　卓、村武まゆみ、芦谷英夫、沖田真治、小川稔宏（委員長）、川上幾雄（副委員長）、澁谷幹雄、西川真午、田畑敬二、三浦大紀

あとがき

広報広聴活動の役割は、生活に直結する行政や議会活動に関心を持ってもらうために、議会の活動内容を広く伝え、広く意見を聴くことだと思います。しかし伝えたい議会側と、知りたい市民の側とではどうしても意識の開きがあります。

このたびの委員会では、つい最近まで受け取る側であった新議員の方が半数の5名も加わり年齢構成も厚くなりました。議会を身近に感じていただけるための斬新なアイデアを取り入れ様々な角度から研究検討を深めたいと思います。

市民の皆様が待ち遠しくなるような「議会だより」、人を誘って参加したくなるような「議会報告会」を目指します。

（記　小川　稔宏）

【議長なんでもメール】
議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会HP→
議長なんでもメール

★この議会だよりは1部あたり42・40円でできています。